

例会報告：2016年8月9日（晴れ）

第1946回 通常例会

会場：小田原卸センター内会議室
日時：2016年8月9日 12：30～13：30

◆ 会長挨拶

辻村 彰秀 会長



皆さん、こんにちは！
8月になり、猛暑が、ずーっと続いていまして、熱中症には十分にご注意ください。7月末から、この猛暑の中、毎日のようにいろいろな事がありました。東京都知事選挙、リオオリンピックの開会、夏の甲子園開幕、イチロー選手のメジャー通算3000安打達成、天皇陛下のお言葉、等々です。オリンピックの中では、特に今朝のオリンピックでの日本体操男子の団体の金メダル獲得は大変興奮させてテレビで見させてもらいました。国別の対抗戦であるオリンピックでの日本選手の活躍を心から喜んでいる自分が本当に日本人だと再認識いたしました。今後、まだまだ皆さんの競技で日本選手が活躍し、より皆さんのメダルを取られることを願っております。

昨日の“天皇陛下のお言葉”のビデオメッセージを聞かせていただき、天皇陛下のお気遣い、思いを認識させていただきました。この内容についての考え方は人それぞれだと思っております。ただ、今まで何度か皇室典範の改定を協議した時もありましたが、その度に政権交代、お子様の誕生等でうやむやになっております。憲法学者や政治家がいろいろ言うのですが、有益な協議のうえで、より良いと思う方向に改定していただきたいと思っております。法律を作るのは人であり、人の気持ち、価値観、道義心は時代や周辺環境の変化とともに変化していくのですから。

8月1日にブラジルに交換学生として旅立った諸星駿君は無事にブラジルに到着したそうです。この一年が彼にとって有益で楽しいものになる事を祈念しております。本日は小田原RCの高田ガバナー補佐をお招きし、8月30日のガバナー訪問前のクラブ協議会となっております。皆様、宜しくお願ひいたします。

◆ 幹事報告

櫻井 康二 幹事



1)次週8月16日は休会です。宜しくお願ひいたします。次回例会は8月23日になります。
2)本日例会終了後談話室にて第2回定例理事会を開催します。理事の方は宜しくお願ひいたします。
3)地区大会のパンフレットをポストインしました。

4) 郵便局前に路上駐車している車が、助手席のガラスを割られ車上荒らしにあいました、皆様注意して下さい。

◆ 出席報告

本多 純二 委員

出席報告	会員数	出席	M.U	出席率
8月9日	39(35)	23	1	68.57%
8月2日	39(35)	26	1	77.14%
7月26日	39(38)	29	2	81.58%

【欠席者】12名

木村 頼弘、小川 和夫、一寸木 芳行、木村 啓滋、志澤 昌彦、富田 浩一朗、内山 修一、長田 英一、内山 昇、上田 博和、大野 英明、杉崎 勝成

【今回MU】1名

木村 頼弘 (8/1 財団)

【前回MU】1名増加

久保田 知子 (8/6 青少年奉仕)

【前々回MU】増加なし

◆ 委員会報告

40周年実行委員会 記念誌部会・大川 部会長

遅くなりましたが、40周年記念DVDを配布いたします。パソコンでしか再生できない仕様ですのでよろしくお願ひします

- サンダーソニア
 - アストラティア
 - トラノア
 - スプレーバラ
- 【花言葉】
サンダーソニア：「愛嬌」
アストラティア：「知性」
トラノア：「誠実」
スプレーバラ：「感謝」



◆ 卓話

「クラブ協議会」

国際ロータリー第2780地区
第9グループガバナー補佐・高田喜好 様



私は第2780地区第9グループのガバナー補佐、小田原RC所属の高田喜好と申します。1年間よろしくお願ひいたします。本日は8/30佐野ガバナー公式訪問の前段としてお伺いしました。日頃は2780地区の運営に関し、ご理解ご協力ありがとうございます。今年度は地区のお手伝いとして、地区職業奉仕委員会に石崎委員長・小林委員、地区青少年奉仕委員会に久保田委員、地区ロータリー財団委員会に柳井委員、財団資金管理委員会に木村委員、合計5名の方々にご協力をいただいております。よろしくお願ひいたします。

先日、辻村会長より小田原城北RC委員会活動計画書及び報告書をいただきました。とても立派なもので、報告書から41年間の歴史と伝統を感じ取れました。これから私がお話すること、大多数の実践は既にされています。特にクラブの概要報告には事業について最初の立ち上がりから説明があり、ベテラン会員より新会員の方々への経緯の細かいご案内がされていて素晴らしいものと感じました。国際ロータリー、ジョン・F.ジャーム会長が今年度のスローガンを「人類に奉仕するロータリー」と発表しました。それに倣い私もキャッチコピーを2つ作りしました。「ロータリー創立111年、財団100年、米山記念奨学50年、そしてビートルズ来日50年」これは数字のゴロ合わせです。もう一つは「気配り、心配り、思いやり」。佐野ガバナーは今年度の重点目標として、会員増強・退会防止に特に力を入れています。私の所属する小田原RCは入会して3～5年でクラブの委員長を担当します。入会して3年くらいの会員が一番退会の可能性があるそうで、その時期に大役を担当させ、ロータリーの面白さを体験させ退会を考えさせない方法だそうです。新会員の方には会員全体で気配りをし、戸惑いが無い退会の意思がないか、いち早く歓迎会を開いて注目しているサインを送ると良いようです。中堅会員の方々には心配りして結束を促しロータリーの神髄を体験してもらい、和気あいあいの中で運営ができるように進めてください。ベテランの経験豊かな会員には、クラブ内での発言の場や居場所を確保するため、思いやりを持って接することが大事だと思います。

佐野ガバナーの方針です。まず第一に掲げたのが「ロータリーの三つの義務・権利の遂行」です。各クラブは半年ごとに人頭分担金をRIに納付することが決められています。年会費も全ての会員が納入しなくてははいけません。出席は年度の半期間でメーキャップを含み出席率が50%に達していなければいけません。ちなみに連続4回欠席でメーキャップもしなければ理事会は会員身分の終結が可能で、出席は重要で。また「ロータリーの友」購読も会員の義務です。次に「ロータリー戦略計画を遂行し継続性を重視する」。三つの重点項目があり、その中に親睦・高潔性・多様性・奉仕・リーダーシップがあります。この戦略計画を掲げて、今までは活動組織とも単年度制度を重視してきましたが、数年前より継続性を重視し多様性を用いてきています。そしてロータリークラブ・セントラルに10個以上の目標を設定すること。ジャーム会長は、各クラブが会長賞の項目の実践をすることに年度の目標を設定し、会員全体で達成を目指し挑戦することを望んでいます。会長が10の項目を選んで、同じ目標を共有遂行しようと言っています。是非ご覧になってみてください。大きく分けて「会員増強・退会防止」は「寄付の遂行」「公共イメージの向上」と繋がっていきます。会員増強は、会員50名以下の小クラブは純増1名以上、50名以上の大クラブは純増2名以上と目標を掲げました。2780地区は5月時点で小クラブ55、大クラブ10です。目標を達成すれば75名の純増になり、総勢2,431名になります。ちなみに最大級のクラブは横須賀で116名、最少は二宮11名です。城北は現在39名、1名の純増目標になりますが、クラブ独自に4名の純増を目標にしているとのこと、頑張ってください。2780地区各クラブでの女性会員の数字は、神奈川湘南RC14名が最高で、次は鎌倉・Eクラブ・藤沢東・相模原西の10名です。現在217名で年初より7名増えました。男性会員は51名減です。佐野ガバナーは現会員を維持し、40歳未満の会員増強に力を入れるよう望んでいます。

対応策として入会3年未満の会員に各グループで2回以上の研修会を開催するよう指導しています。第9グループは9/20（火）小田原箱根商工会議所で開催します。入会3年未満の方はご出席ください。足柄RC山路バスガバナーの講演と、その後小グループに分かれて『ここが知りたいロータリーのこと』と題してQ&A、ディスカッションと行います。2回目は3月頃に予定しています。米山奨学の年次寄付は財団100周年を祝い、1人当たり200ドル以上達成、全会員寄付ゼロ無しを目標にして欲しいと強く希望しています。ポリオプラスも全クラブ1人当たり40ドル以上の寄付を重ねてお願いします。恒久基金・ベネファクター表彰は1クラブ1,000ドル以上1人の寄付者が目標です。全クラブ寄付額を過去5年間で最高にするよう努力して欲しいと思います。米山奨学寄付は今年度も1人2万円以上になっています。小田原城北は過去の実績は素晴らしく目標をクリアしていますが、ぜひ過去最高額を目指して頑張ってください。今までの寄付は一方的に皆様に対してのお話しでしたが、地区も佐野ガバナー自身大口寄付2名以上、メジャードナー5名以上、ポール・ハリス・ソサエティ会員5名以上を独自に目標としています。皆様と一緒に努力して達成したいと言っています。公式訪問の際には佐野ガバナー自ら詳しくお話ししていただけたらと思います。佐野ガバナーは150年程前に始まった金井酒造の五代目蔵元として昭和18年に生まれました。職業分類は酒醸造業、秦野RCに33年在籍しています。秦野青年会議所理事長、秦野観光推奨品のれん会理事長を経験し、現在神奈川県酒造組合副理事長、秦野商工会議所副会頭を務めています。本業の金井酒造店は四代目が基礎となる「白笹つづみ」を生み出し、その濃醇な味わいはロングセラー「笹の露」へと受け継がれ、モーツァルトを聞かせた銘酒「モーツァルト」を世に出し、伝統を現在に生かした酒作りに挑戦しています。ジョン・F.ジャーム会長は1976年にアメリカ・テネシー州チャタヌーガRCに入会して40年になります。彼は「ロータリーの2億ドルのチャレンジ」の指揮に当たり、目標額を上回る寄付を集めました。ロータリー漬の毎日を過ごし、積極的なればなるほど素晴らしい活動を目にする機会が増えてもっと関わりたいと感じているそうです。ロータリーは広報や認知活動に積極的ではありませんでしたが、どれだけ素晴らしい活動をしているか公共イメージを高める必要があります。現在未来のことだけでなく過去の歴史の部分を知らなければ全容が見えず理解が難しいでしょう。途中からRCに入る流れがよく分からなかったりします。ポリオ撲滅も2人の日本人の想いをきっかけに始まり、その夢がもうすぐ達成されそうです。日本人として同胞としてもう少しご協力をお願いします。寄付の目的や何に使われているのかが分かれば皆喜んで寄付してくれる、と会長幹事長の方々に言われました。その言葉に背中を押され、ガバナーからの強いメッセージをお伝えしました。

